

令和元年度 第3回横手市地域公共交通活性化協議会 会議録（概要）

日 時 令和元年11月12日（火） 16:00～16:35

場 所 横手市役所本庁舎 2階 第一会議室

出席者 19名（随行者3名）

欠席者 3名

事務局 4名

○開 会

事務局 これより第3回横手市地域公共交通活性化協議会を開会する。

○会長あいさつ

お忙しい中、夕方からの会議にご出席いただき、感謝申し上げます。

今回は前回継続審査となった「スクールバスを活用した有償運送実証実験」について、関係各位への説明や地元住民との意見交換を終え、一定の調整が整ったので、再度協議させていただくこととなった。

本日も忌憚のないご意見を出していただきたく、よろしくご審議のほどお願いする。

○議事

議案第1号 スクールバスを活用した有償運送実証実験について
（事務局から宇佐美委員の質問に回答の上、資料1に基づき説明）

会長 ただいまの事務局の説明に対し、ご質問、ご意見等をお願いしたい。

宇佐美委員 福地コミュニティセンターの前を通る睦合線は秋南タクシーに運行を委託することとなっているが、秋南タクシーとの協議は終わっているのか。

事務局 睦合線は市が運行主体となっているため、問題ないと考えている。

平元委員代理 利用料金200円は実証実験のみ了解させていただいたものである。利用料金が無料であれば、交通事業者として何も言うことはないが、同一地域内に民間のバス、タクシー会社がある中で、福地コミュニティセンターから大森病院までの約15キロを200円で利用可能となると、あまりにも他の交通運賃とかけ離れている。本格運行に移行する際は再度利用料金について検証していただきたい。

- 事務局 ご意見として承らせていただき、本格運行へ移行する際は、改めて法定協議会で協議させていただきたい。
- 長澤委員代理 実証実験の検証の他、デマンド交通や路線バスの利用にどのような影響があったかもあわせて検証していただきたい。また、実証実験の対象地域では交通運賃が安い、他の地域では交通運賃が高いなど、様々な意見が出てくると思うので、詳細に利用者の声を拾っていただきたい。
- 事務局 デマンド交通については、市が事務局となっているので、実態を検証しながら進めていきたい。路線バスについては、羽後交通と協議しながら検証を進めることとする。
- 加賀谷委員 実証実験開始にあたり、大雄地域の小出から藤巻のあたりの除雪に問題はないか。
- 事務局 除雪体制については、各地域課に事前確認をしており、除雪ができていなくて運行できなくなるということはないと考えている。地域課と連携しながら取り組んでまいりたい。
- 高橋茂委員 往路では主に大森病院やうえたストアへの利用が多いと思われるが、その場合に12時から出発する3便に果たしてニーズはあるのか。
- 事務局 朝の早く家族の送迎で大森病院に行った方が2便を利用して帰るケース、1便で大森病院に行った方が4便を利用して帰るケースは想定しているが、一方で3便の運行時間が中途半端になっている部分はある。3便を回送とすることも可能ではあるが、利用者は少なくとも運行して利用実態を確認することとしたいため、ご理解いただきたい。
- 高橋茂委員 うえたストアの前を通らないこととしたようだが、大森地域局から歩いていけるくらいの距離なのか。
- 事務局 大森地域局からは200メートルほどであり、徒歩での移動が十分可能な距離となっている。うえたストアの駐車場でスクールバスを転回させることは難しく、安全面も考慮し、乗降場所から外すこととした。
- 会長 他にないようであるので、議案第1号 スクールバスを活用した有償運送実証実験について、承認することとしたい。